

# 景況レポート

(6月分・情報連絡員80名)

## 業界全体の景況感がやや後退

### 【概況(全体)】

6月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが8.8%(前回調査12.5%)、「悪化」が38.8%(同41.3%)で、業界全体のDI値は-30.0となり、前月調査と比較して1.2ポイント下回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、製造業は全国及び東北・北海道ブロックを大幅に上回っているものの、非製造業は低調となり、全体の景況DI値は、東北・北海道より低い水準で推移した。

### 【業界別の状況】

業界別では、一部の繊維工業や建設業、卸売業などで景況感が後退した。一方、食料品、鉄鋼・金属、小売業では悪化割合が縮小した。

なお、景況DIは、製造業は前月に引き続き緩やかに改善したものの、非製造業は後退に転じたため、全体の好況感を維持できなかった。

全体の景況感としては、各業界とも依然として需要の減退や個人消費の低迷等により景気回復を実感できない状況であり、慢性的な実需不足に天候不順による需給不調等も相俟って、中小企業の先行きは予断を許さない状況にある。

### <全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-30.0	-33.0	-27.0
製 造 業	-15.6	-33.2	-24.3
非製造業	-39.5	-32.7	-28.6

### <景況天気図>

項目	業界の景況	売 上 高	販 売 価 格	取 引 条 件	資 金 繰 り	雇 用 人 員
製 造 業						
非製造業						

#### 【凡例】



#### 【天気図の見方】

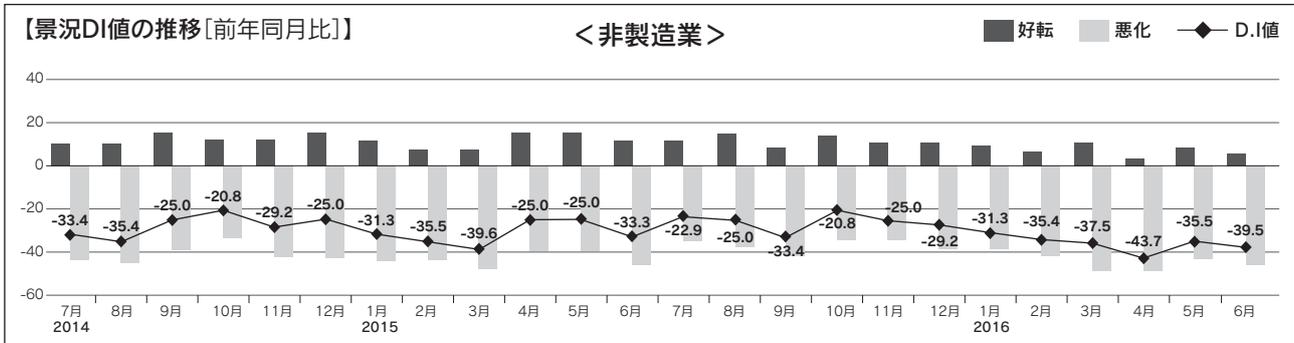
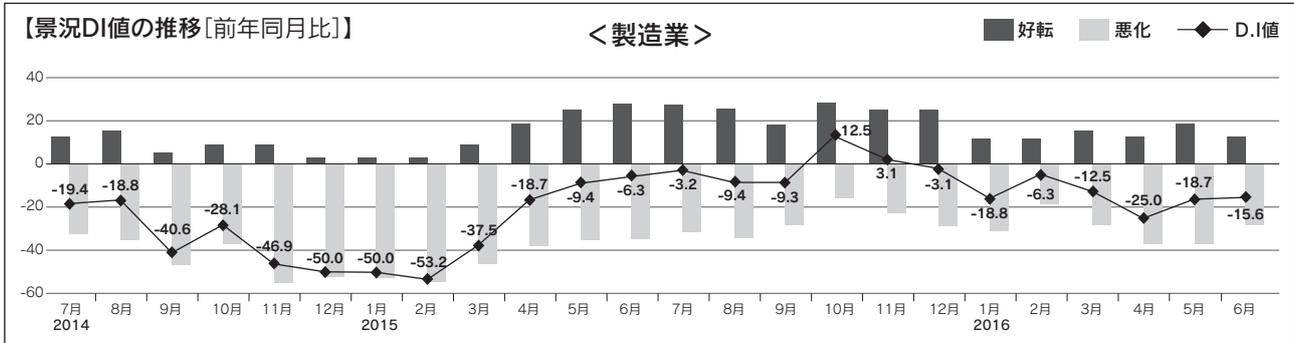
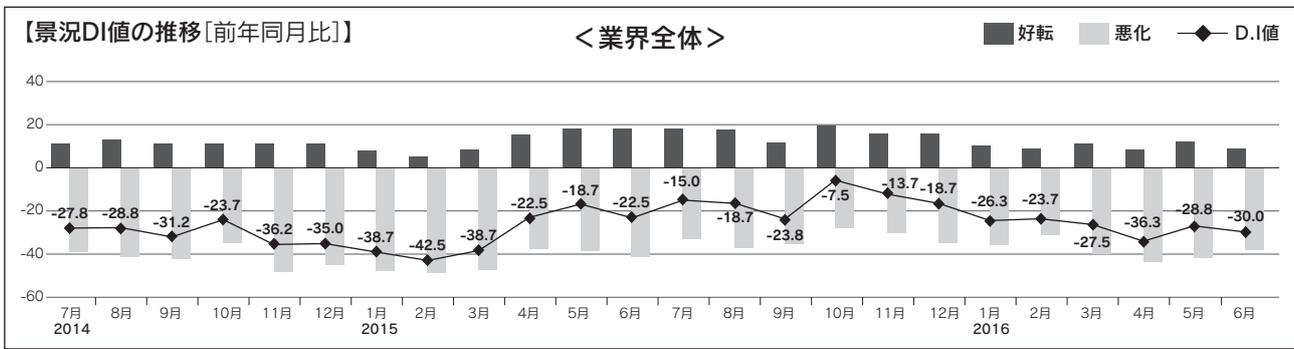
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

### 【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品 (パン)	6月は気温が高かったため、販売に苦戦した。パンや菓子は高温に弱く、今後7月～8月の動向が懸念される。しかし、7月に小麦粉の価格が下がる予定のため、収益の改善が見込まれる。
食料品 (清酒)	5月の清酒出荷量は1,300,617ℓで、前年同月比103.0%となった。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比106.5%、純米酒が同107.2%と好調に推移した。
繊維工業 (ニット)	6月の生産状況は、秋物立ち上がり製品が順調な組合員企業は、稼働が良好であった。
木材・木製品 (一般製材)	4月～6月は納期の延期等があり荷動きが悪く、受注量は前年並みとなった。一方、製品販売価格は横ばいか値下がり、収益環境は悪化傾向にあり、景気回復の実感はない。(中央地区)
木材・木製品 (外材)	6月の丸太輸入量は、北洋材が3,818m <sup>3</sup> であった。国内製品市場は、消費税増税の延期により駆け込み需要も消滅し、沈静気味となっている。合板原材料は、国産材の市場参入時期と重なり、外材輸入量は減少が予想される。最近の円高で外材輸入に期待があるが、輸出国での値上げ指向もあり、輸入量増加の見込みは低い。
印刷	受注単価の下落や小ロット化により、既存の仕事の売上が伸び悩んでいる。(県南地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	6月の出荷数量は、前年同月比で84.9%となった。地区別では、本荘由利地区、県南地区は前年実績を上回っているものの、他の地区は前年同月比70%台で推移している。中でも、日本海沿岸東北自動車道の工事が終了に近づいている大館北秋地区では、前年同月比50%台と非常に厳しい状況が続いている。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	6月に入り、民間工事に動きが出始め、工場の稼働率も100%まで回復した。8月以降は、相当な受注量が期待される。
一般機器 (金属加工)	受注は前年同月並みに推移したが、取引条件は依然として厳しい状況である。
その他の製造業 (漆器)	5月より川連漆器工芸館への来館者数が増え始めたことに加え、6月は歳祭り等があり、来客数、売上ともに前年同月比で若干増加となった。今後も、集客を図るために様々な企画展を計画している。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

**卸売業 (商業卸)** 建設卸では、消費税増税の延期により需要の停滞が見受けられる。また、水産卸では、仕入単価が上昇し、魚種不足となっている。(横手市)

**小売業 (クレジット業)** 6月の総取扱高は、前年同月比で10%増加した。家電量販店の取扱高が低下している一方、宝飾品や衣料品関連の取扱高は増加している。(大館市)

**商店街 (秋田市)** 各組合員とも総じて業況は振るわず、売上は前年同月比で15～20%減少している。

買い回り商品が主体の店舗構成であるため、春の需要期を過ぎ来街者が減少している。外商も兼ねている店舗では、例年並みを維持するために対策を講じているが、結果に反映させることに苦戦している。(大館市)

**サービス業 (旅館ホテル)** 6月の売上は前年同月比で減少となり、北海道新幹線の影響が感じられた。太平洋側に比べ、日本海側は国内・国外ともに不利であると強く感じている。

**サービス業 (旅行)** 6月の売上は、前年同月比で国内旅行が121.7%、海外旅行が71.4%で推移した。海外旅行は依然として不振だが、円高傾向であるため、今後の動きに注視したい。

**建設業 (管工事)** 組合取扱資材の売上は、前年同月比で2割の減少となり、1月～6月までの累計でも1割減少している。(秋田市)

**建設業 (電気工事)** 新築、増改築工事ともに受注量は前年同月比で増加している。大曲駅周辺の住宅造成地は、特に新築工事が増えている。一方、職人の高齢化と人材不足は、依然として深刻な状況である。(大仙市)

**運輸業 (トラック)** 6月は荷動きが悪く、前年同月比では売上、収益ともに5%以上減少した。この状況は、7月以降の青果物出荷時期まで続くものと推測される。(県南地区)

**その他の非製造業 (砂利採取)** 公共工事等の仕事量が少なく、発注も遅いため、骨材の荷動きは鈍くなっている。(県南地区)